



「よいにんじんの日」で「春にんじん」をPR 徳島県産「春にんじん」の試食宣伝会が開催！

「よいにんじんの日」JA板野郡にんじんトップセールス

- 期日：4月12日(木)
- 場所：大田市場 東京青果(株)
- 主催：JA板野郡、JA全農とくしま
- 内容：徳島県産春にんじんのPRや試食宣伝等

■ 春夏にんじんの出荷量日本一！

徳島県産の春にんじんが出荷最盛期を迎えることから、JA全農とくしまとJA板野郡の関係職員が多数来場して試食宣伝会が開催されました。

平成29年都中央にんじん入荷量は、1位が千葉県(占有率35%、6月と12月がピーク)、2位が北海道(同30%、9～10月がピーク)、3位が徳島県(同18%、4～5月がピーク)となっています(群馬県は20位、占有率0.1%)。徳島県は3～5月の春にんじんの生産が多く、4月の徳島県産割合は83%、5月は同68%となっています。

徳島県は春夏にんじんの出荷量が日本一(占有率31%、平成28年農林水産省統計)で、2位の千葉県(同17%)を大きく引き離しています。そこで、全農とくしまや徳島県内JA等で構成される「徳島県にんじん振興協議会」は、「412(よいにんじん)」との語呂合わせから、4月12日を「徳島県にんじんの日」に制定しています。今年も、東京・大阪・名古屋・徳島の4市場で市場関係者向けに試食宣伝等を開催し、都内の量販店等でも様々なPR活動を行い、甘くて柔らかい春にんじんの食味の良さを売り込み販売促進を図っていくとのことです。

■ 「春にんじん」の食味大好評！

徳島県にんじんの生育は、昨年の台風で播種が遅れ、その後の低温で肥大はやや小ぶりとなり出始めの3月出荷量は少なめで推移しましたが、その後の気温上昇や適度な降雨によって生育は回復傾向で、病害虫の発生も少なく、品質・収量ともに平年並に回復する見込みです。

当日は、「にんじん生ジュース」と「にんじんジャム(クラッカーのせ)」が試食提供されました。特に「にんじん生ジュース」は当日の朝絞りたてで、「砂糖は入っていないんだ。」「甘くて美味しい。」と大好評でした。また、徳島県産にんじんを使ったジュース「ザ・キャロット(甘味料無使用で、香りづけに徳島特産のすだちを使用)」と「にんじんのポタージュ」や「にんじんのきんぴら」等の徳島県産にんじん人気レシピや徳島春にんじんの特徴を記載したリーフレットが配布され、市場関係者に春にんじんの食味や品質の良さをPRしました。



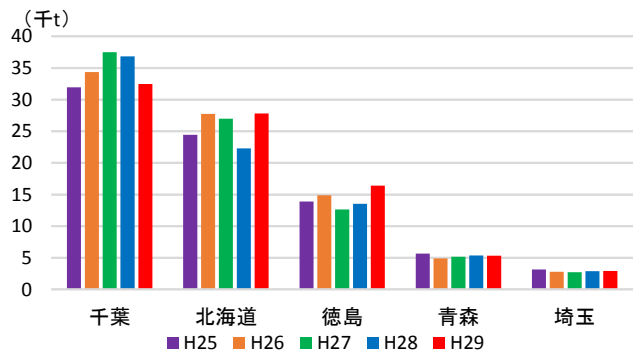
徳島県産春にんじん展示



試食品(左:「にんじん生ジュース」、右:「にんじんジャム」)



試食宣伝の様子



都中央にんじん入荷量上位5産地の年別推移(H25～H29)